

令和 6 年度
学校関係者評価委員会
報告書

令和 7 年 6 月
学校法人 タイケン科学学園
日本ウェルネス A I ・ I T ・保育専門学校

目 次

- P. 3 1. 学校関係者評価委員会の目的
- P. 3 2. 学校関係者評価委員会の所管事項
- P. 3 3. 令和4年度 学校関係者評価委員会開催概要
- P. 4 4. 議 題

1. 学校関係者評価委員会の目的

日本ウェルネスA I ・ I T ・保育専門学校が、関係者の理解と協力を得ながら学校運営を進めていくために、学校の基礎的情報の把握・分析を行ない、学校関係者(関係業界、所轄庁、学生、保護者、地域社会等)との信頼関係を強めることを目的に設置する
(日本ウェルネスA I ・ I T ・保育専門学校 学校関係者評価委員会 規則 第1条より抜粋)

2. 学校関係者評価委員会の所管事項

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 学校の教育目標・人材育成の目標及び教育指導計画、経営方針
- (2) 教職員の組織、教員の専門性
- (3) 学生支援・キャリア教育の実践的職業教育
- (4) 財務情報の公開・法令等の遵守
- (5) その他、自己評価・学校関係者評価を踏まえた改善方策

(日本ウェルネスA I ・ I T ・保育専門学校 学校関係者評価委員会 規則 第2条より)

3. 令和4年度 学校関係者評価委員会 開催概要

- (1) 日 時 令和6年5月29日 16時00分～17時00分(対面・オンライン)
- (2) 場 所 東京都千代田区神田神保町1-52-4
日本ウェルネスA I ・ I T ・保育専門学校 会議室
- (3) 出席者 委員長 相澤 隆二
委員 平野 節子
委員 中尾 康之
委員 柴岡 信一郎
職員 平山 実
職員 増澤 将江
- (4) 議 題 1 令和6年度自己評価報告書の概要について
2 将来教育のIT化について

4. 議 題

- (1) 令和4年度自己評価報告書に対する、委員からの評価及び意見、その改善方策
ア. 教育理念・目標

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
教育理念、目的である「自主的、主体的に学ぶ姿勢を持ち、思いやりの心を持った保育士の育成」を目指す為のカリキュラム編成はどのように進んでいるのか。	座学だけの授業ではなく、グループワークを多く取り入れ、自主的学ぶ姿勢を取れ、思いやりの心を育成するために、教職員が日々生徒と関わりをもち、注意が必要な場合には、注意ができるように職員間におい

	でも指摘しあうよう取り組んでいる。
--	-------------------

イ. 学校運営

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
学園の事業計画に基づき適切に学校運営されているので問題はないです。	先を見越した考えで、情報システム化など学園全体で取り組んでいる。

ウ. 教育活動

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。 2023 年度からのこども保育学科のカリキュラム変更は総時間数が減っているが大丈夫か。	医療事務学科では、通常授業内に実施している。また授業外で適宜に資格対策講座を行っている。 総時間数の変更は各科目の必要時間はしっかりとり、なおかつ、保育士として不安を抱えている生徒に保育園でのボランティア活動を実施するために変更したもの。成果をみつつ、必要であれば微調整をしていく。

エ. 学修成果

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
退学率全体としては年々減少しているものの、メンタル面を主な原因とした退学率は横ばいであるが、生活習慣に課題のある生徒は存在しているが、どのような対策を行っているのか。	担任と緊密な連携を図り、きめ細かな身上把握に努めることともに保護者とも必要の都度連絡を取る。今後も常に退学率の低減を考え、生徒との距離の保ち方を様々な方策で講じていくこととする。

オ. 学生支援

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
留学生も保育の学生も心が弱い学生が増えてきているが、どのような対応をしているか。	担任による個別面談を適宜実施している。毎週の定例ミーティングと随時ミーティングで在校生について、校長・教職員全員が共有し、サポート体制がとれるようにしている。本校にいる間に乗り越えられるよう、臨床心理士に相談しつつできる限りの支援をしている。

カ. 教育環境

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
施設・設備は整っており、問題ない。Web授業の活用を高めるために、ネット環境を整えていく必要がある。	2024 年度後期から 1 階、9 階フロアを除き、校内 Wi-Fi が使える環境も整った。

キ. 学生の受入れ募集

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
学生募集のマンパワーはどのくらいあるか。	募集専任職員は、1 名であるが、全職員営業マンとなり、創意工夫と効率化により、実効性のある募集を行う。

ク. 財務

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
健全な運営がなされていて、問題ない。	問題なし。

ケ. 法令等の遵守

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
自己評価のとおり、適切に遵守されていて問題ない。	問題なし。

コ. 社会貢献・地域貢献

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
地域へのボランティア活動では、毎回のごとく学生の参加者数が少なかった。ボランティア活動に対する啓蒙が不足しているのではないかな。	あらゆる機会を通じ啓蒙を図る。

(2) 将来教育の IT 化について

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
更なる IT 化について、ハード・ソフト面での構造的課題は何か。	館内 W I F I 化や個人端末について、更にその実効性を検討する。